

## 08年度卒1症例発表会を開催しました

桜も散り、暖かくなってきました。08年4月に新入職員として入職した卒1看護師も2年目を迎えています。1年目研修の締めくくりとして、4月11日に08年度卒1症例発表会を開催しました。

参加者数58名とたくさんの参加のなか、発表者4名も堂々と発表し、1年間の頑張りの成果がみえました。

みんなの入職時の緊張した顔から、今の自信に満ちた顔への変化をみていると、本当にうれしく、1年間の出来事が思い出されます。

特に、各援助担当者は1年間、一緒に悩み・頑張り、共に歩んできたので大きな喜びがありました。担当者から受講生にあてたメッセージを読む場面では、1年間の思いがあふれ、涙々の言葉で参加者は感動でいっぱいになりました。



真剣な雰囲気に参加者

卒1症例発表会の目的は、症例の中から病態生理を正確に学び、その症例の中で、患者の要求をどのようにとらえ、援助していくのかという点です。入職当時は、業務を覚えることに精一杯で、学生から社会人となり、責任の重さを感じながら、たくさんの問題にぶつかってきました。この症例をまとめる中で、忙しい業務の中でも、患者さんときちんと向き合い、立ち止まって考え、あきらめない看護を実感できるいい機会となりました。

参加者からは、『病棟全体で大切に育てられている雰囲気が目に浮かぶ』『担当者と共に頑張っている姿が思い浮かんだ』『自分も初心にかえり、新鮮な気持ちになった』などの感想がありました。

今回の症例発表会のテーマは、『心からの笑顔いっぱい輝こう！～やりたい看護がここにある～』としました。これは、受講生と共に頑張ってきた担当者が、受講生のみんなにあてたメッセージでもあります。受講生のみんなが、心からの笑顔いっぱい輝けるように、自分でやりたい看護をきちんとみつめ、柔軟な気持ちを持ち、患者さんにとってよりよい看護ができることを期待しています。

また、今年度もよい症例発表会ができるように、1年間頑張っていきたいと思います～！！